

じゆくご 熟語ランド



第9回

田代しんたろう

好きこそ ものの上手なれ

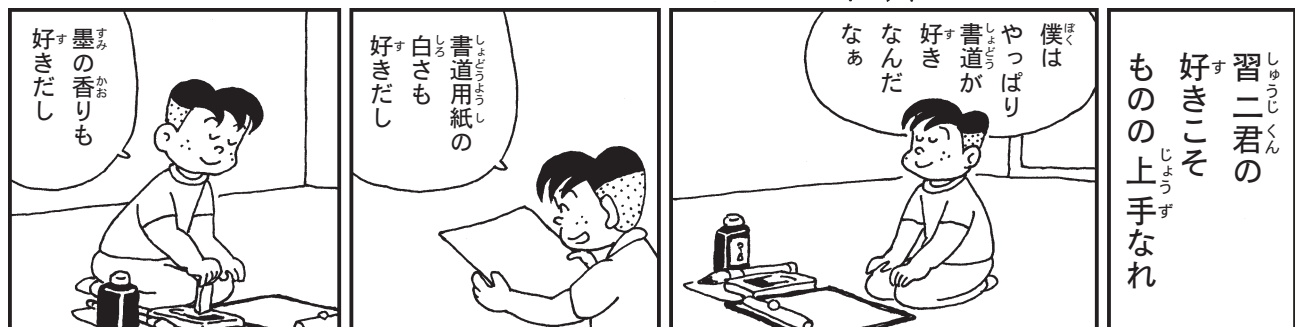
言葉の意味

「こそ」は強調の役割。「上手」は、物事のやり方が巧みで技術的にすぐれていることや、そのようにできる人のこと。好きなことは一所懸命に取り組んで、勉強したり工夫したりしますね。



好きであれば、興味を持って楽しんでやるので、おのずと上達しやすいという意味になります。何かを得意にしている人を褒める時に使います。

こんなふうに使っよ





しゅうじ君の ことわざ。



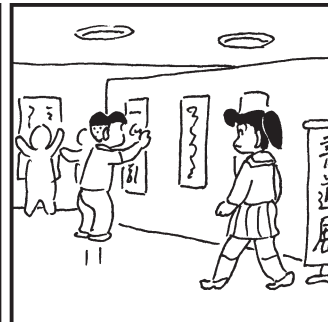
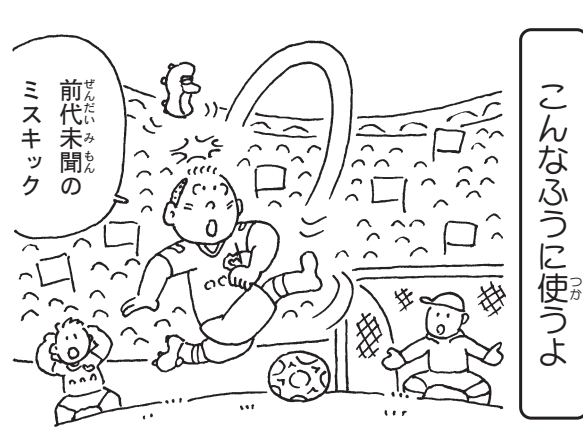
前代未聞

(ぜんだいみもん)

言葉の意味

「前代」は現在よりも前の時代、つまり過去の時間のこと。言い換えると「これまで」の意味です。「未聞」はまだ一度も聞いたことがないことになります。

これまでに世の中の誰もが聞いたこともないような珍しく変わった出来事の意味になります。それほど《ビックリするようなたいへんなこと》として、良い意味でも悪い意味でも使います。



習二君の
前代未聞

